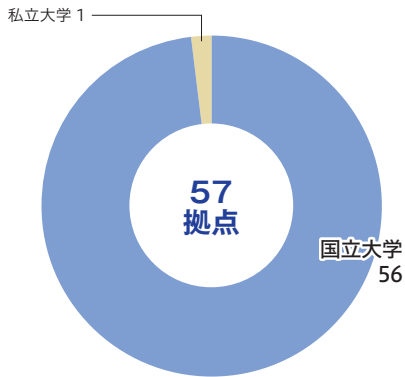


2. 教育

社会に開かれ、生涯にわたり質の高い高等教育を提供

教育関係共同利用拠点のほとんどを国立大学が占めており、多様な分野における大学教育発展のための全国的拠点としての役割を担う(2-1)とともに、質が高く充実した教育環境を整備し(2-2~2-3)、リカレント教育の充実により社会人の能力向上を図っている(2-4、2-5)。

2-1 教育関係共同利用拠点

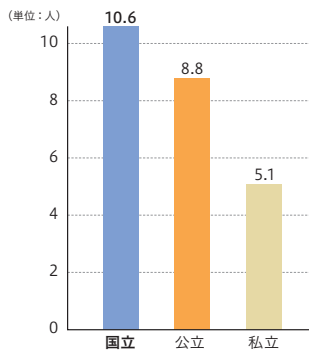


◎拠点の種類

留学生日本語教育センター	2 拠点
大学の職員の組織的な研修等の実施機関	12 拠点
練習船	8 拠点
演習林等	9 拠点
農場	8 拠点
臨海・臨湖実験所	14 拠点
水産実験所	4 拠点

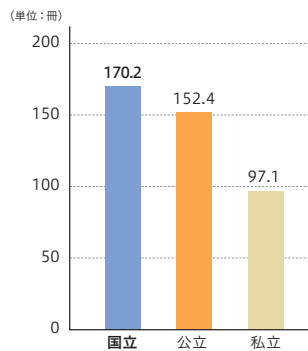
(注) 2023年4月1日現在
(出典) 文部科学省公表資料より国立大学協会事務局作成

2-2 学生100人当たりの教員数



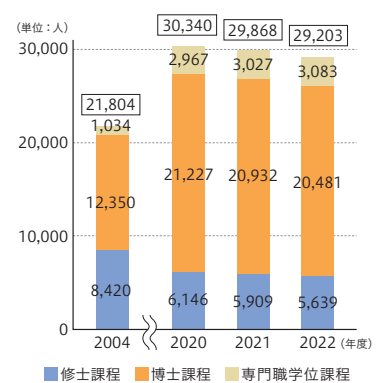
(出典) 文部科学省「学校基本調査(令和4年度)より国立大学協会事務局作成

2-3 学生1人当たりの蔵書冊数



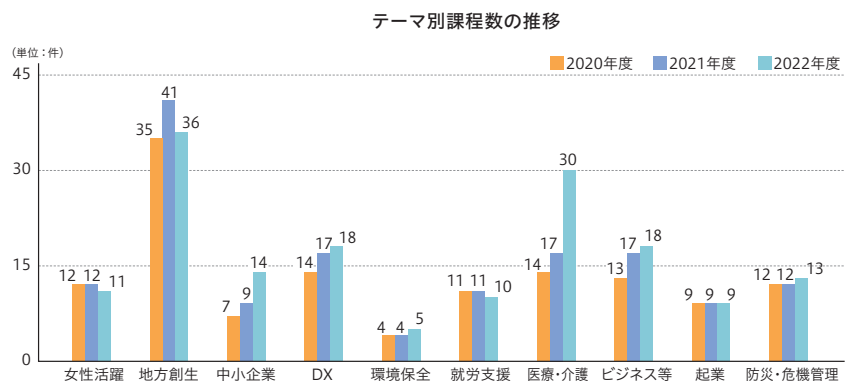
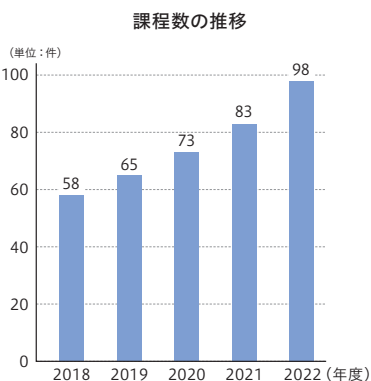
(出典) 文部科学省「学術情報基盤実態調査(令和4年度)及び「学校基本調査(令和4年度)より国立大学協会事務局作成

2-4 国立大学大学院における社会人学生数



(出典) 文部科学省「学校基本調査(各年度)より国立大学協会事務局作成

2-5 職業実践力育成プログラム(BP) 国立大学認定課程数



(注1) テーマについて、令和3年度認定課程より、これまでの「女性活躍」「地方創生」「中小企業」に加え、「DX」「環境保全」「就労支援」「医療・介護」「ビジネス等」「起業」「防災・危機管理」を追加(令和2年度までのテーマ「非正規(非正規労働者のキャリアアップ)」は、「就労支援」に変更)

(注2) 令和2年度以前の認定課程について、(注1)の追加テーマへの該当は、大学等からの申告に基づいて記載している
(出典) 文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)認定課程一覧より国立大学協会事務局作成